

発行日/2017.10.1

嘉麻市社協だより

えがよ

No.140



元気なかけ声が
運動場いっぱいに広がりました♪

牛隈小学校
運動会の
練習風景



社会福祉法人 嘉麻市社会福祉協議会

〒820-0205 嘉麻市岩崎1143番地3 稲築住民センター内

TEL 0948-42-0751
FAX 0948-83-8005

<http://kama.syakyo.com>
✉ info@kama.syakyo.com

 <https://www.facebook.com/kama.swc>

今月は嘉穂地区の協議体 「嘉穂ますます会」を紹介します



協議体は、ますます高齢化がすすんでいくなかで、住み慣れた地域で暮らしていくために、あったらいいなと思うことを話し合い、必要であればその仕組みづくりをしていく場です。嘉穂ますます会では「行きたいところに行ける仕組み」をテーマに話し合っています。

乗り合いタクシーについて

嘉穂地区は面積が広いので、バスよりもタクシーのほうが利用しやすいという声があり、大隈タクシーさんに参加してもらい、乗り合いタクシーについて考えています。意見交換をし、調べていくと、国土交通省の事業許可を受ける必要があること、許可を受けたとしても運賃が高いことなどの課題がみつかりました。また、実際にタクシーを利用する方が、いつ利用し、どのように困っているのか知りたいという意見が出ました。



移動販売について



「自宅から車に乗って移動することが、難しい人もいないのではないか。移動販売についても考えてみよう」という声があがり、グリーン・コープやエフコープに移動販売について教えてもらいました。



聞き取り票について

民生委員の方々に協力してもらって、買い物などの移動に困っている方が、どの地域に出かけることが多いのか、また、外出先はどこが多いのか等の調査を行っています。



参加者の声

今のところ買い物などには困っていないけれど、近い将来、そんな日が来る。自分の通る道なのだから何とかしておきたいと思い、参加しています。

パブリックコメント

嘉麻市交通体系対策係からの要望で、協議体から出た意見を提出しました。

協議体は、どなたでも参加できます。みなさんの声を地域づくりに活かしてみませんか？

また、協議体の開催時間に合わせて、出張相談窓口を開設しています。介護のことに限らず何でもご相談ください。

今後の協議体について

- 11月13日(月) 13:30 ~ 千手いこいの家
- 12月11日(月) 10:00 ~ 下牛隈公民館
- 1月15日(月) 13:30 ~ 足白公民館
- 2月19日(月) 10:00 ~ 夢サイトかほ



本会では、日々の活動を紹介したり、いろいろな福祉情報を素早くお届けしたいという思いから、ホームページで、日記『嘉麻市社協のブログ』を書いています。そこから抜粋してきた記事をご紹介します。

<http://kamasyakyo.sakura.ne.jp/wp/> (ブログのアドレスが変わりました)

ね ね こころ音の会 平成29年8月

2017年8月27日(日)

「こころ音の会」のメンバー5名と、今後のことを考えた地域資源の情報収集と選択肢の幅を広げる目的で、嘉麻市馬見にある社会福祉法人ひまわり会の見学に行きました。

初めに、相談員の方からそれぞれの施設の特徴(特別養護老人ホーム、地域密着型特別養護老人ホーム、介護老人保健施設)や施設入所した際の金額等について説明を受けた後、施設内を見学しました。

見学を終えたあと、参加された方は「嘉麻市にこのような施設があることを初めて知りました。今後の参考にしたいと思います」と、話されていました。



東峰村災害支援52日目

2017年9月1日(金)

本日ももちまして、東峰村災害ボランティアセンターでの活動は終了いたしました。

ボランティア受付終了後、災害ボランティアセンターが社協のボランティアセンターに移行するセレモニーが行われ、東峰村社協会長と村長が時折声を詰まらせながら、ボランティアさんに感謝の言葉を述べられました。

その思いが詰まった一言一言は、ボランティアの皆さんに確実に届いているようでした。

本会は、発災直後の7月6日から東峰村の支援にかかわらせていただき、たくさんの方との出会いやつながりを持つことができました。このことは、今後の活動にとってかけがえのない宝物だと思います。

また、嘉麻市からもたくさんの方が東峰村でのボランティア活動をされ、「私も嘉麻市民ですよ」と声をかけられるたびに、心強さと誇らしさを感じました。

東峰村と同様に隣接する朝倉市は、まだまだ支援の力を必要としています。

市民の皆様のご支援、ご協力をお願い申し上げます。



在宅介護者の集い

在宅で介護をされている方々がいろいろな情報交換をつうじて、楽しくリフレッシュしています。

●平成29年10月12日(木)

●稲築住民センターにて(岩崎1143番地3)

●平成29年11月9日(木)

●ふれあいハウスにて(上山田502番地6)

※時間は13時~15時までです。

嘉麻市認知症家族の会

認知症の方を介護しているご家族が集まり、お互いの体験や情報交換をしています。

●平成29年10月28日(土)

●平成29年11月25日(土)

●ふれあいハウスにて(上山田502番地6)

※時間は13時30分~15時までです。

ひきこもり家族の集い

ひきこもりの家族を持たれている方々と、いろんな悩みを話したり、情報交換をしています。

●平成29年10月26日(木)

●平成29年11月16日(木)

フリースペース

家から一歩外に出て自由に過ごせる居場所です。特にプログラムはありません。

毎週木曜日 13時30分~15時30分

●平成29年10月5日(木)、12日(木)、19日(木)、26日(木)

●平成29年11月2日(木)、9日(木)、16日(木)、30日(木)

※ひきこもり家族の会フリースペースは寄ってこハウスで行います。時間は13時30分~15時30分です。

日時等が変更になることもありますので、事前にご連絡ください。

《お問い合わせ先》

嘉麻市社会福祉協議会

☎0948-14210751

Email:tki@kamasyakyo.com

～心を癒すのに必要な時間～

ひきこもりについての勉強会



9月4日(月)、稲築住民センターで、ひきこもりについての勉強会を開催しました。宇部フロンティア大学・大学院教授の西村秀明さんをお招きし、「ひきこもり」の理解と支援について～当事者の声に学ぶ～をテーマに、ご自身の経験からたくさんの事例を交えて話していただきました。

ひきこもりという行動は、まず何かしら傷つけられた体験があり、助けを求めたにもかかわらず、「気にしなければよい、もっと強くならなければいけない」など、周囲の何気ない言葉や行動で更に傷つき、疲れ、そんな外部から自分を守るための手段なのだと学びました。

日本人は、学校や仕事へ行くことは当たり前で、疲れても休むことなく頑張ることが美德と考える傾向にあります。何事も標準値を普通とし、個性が認められない社会であることに危機感を覚えているにもかかわらず、普通という壁を越えることができない生きづらさがあります。

現在も、自宅中心の生活をしながら不安な毎日と闘っている方がおられます。心に負った傷を癒すのには、時間とそっと見守る周囲の支えが必要だと話されました。

今回の勉強会で、自分の価値観「普通」ってなんだろうということを改めて考えることができました。かまひきこもり相談支援センターでは、地域全体で温かく見守っていく視点について、みなさんと一緒に学びを深めたいと思います。



勉強会参加者の声

- 頭や肩の凝りがほぐれる思いでした。豊富な事例で、重たく絞切り型になりそうな内容を、温かな言葉で心にスッと届けてもらい、優しい気持ちで聴くことができました。
- 裏づけのある実話を聞くことができ、人生いつからでもスタートができると思うようになりました。
- 私の生き方を子どもに押し付けていることを素直に受けとめ、子どもに少しでも寄り添いたいと思えるようになりました。これから先が明るくなりました。



フリースペースのご案内

自宅中心の生活をされている方が、家から一歩出てみようと思ったとき、過ごせる居場所があったらいいなという思いから、家族会「つながり」と運営しています。

- 日時：毎週木曜日 午後1時30分～3時30分
- 場所：寄ってこハウス(嘉麻市漆生878番地)

電話、メール、来所にて相談を受けています。

自宅に伺うこともできます。お気軽にご相談ください。

TEL:0948-42-0751 E-mail:tiiki@kama.syakyo.com

過ごし方のルール

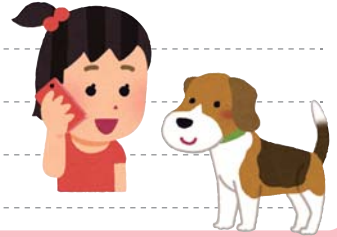
相手を否定しない
何もしない自由がある
秘密を守る





おおがみ なつき
大神 夏月 ちゃん 3歳

「もしもしワンワンですか～？はい、お願いしまーす♪」
と犬のペコと電話ごっこをすることが
好きだそうです。
1歳になる妹の彩月ちゃんとも遊んで
くれる、優しいお姉ちゃんです。



いとう みつお さちこ
伊藤 光雄 さん・紗智子 さん

94歳の誕生日を迎えました。
私は今まであまり写真を撮ってこなかった
のですが、孫が働いている写真館で、家族の
集合写真を撮れたことが嬉しかったです。



社協だよりクイズ



「広報紙えがお」を読んで、次のクイズにお答え
ください。正解者の中から抽選で2名の方に、図
書券(千円分)をプレゼントします。

問題

ひきこもりについての勉強会は、どこで開
催されたでしょうか？

- (1) 稲築保健センター
- (2) 稲築地区公民館
- (3) 稲築住民センター

応募方法

①クイズの答え、②広報紙の感想、③郵便番号・住所、④
氏名、⑤年齢、⑥電話番号をご記入の上、10月31日(必着)
までにハガキ、またはEメールにてご応募ください。

送付先 〒820-0205

嘉麻市岩崎1-4-3番地3 嘉麻市社会福祉協議会

E-mail: itiki@kama.syakyo.com

前号のクイズの答え

(2) 小石原焼伝統産業会館

東峰村災害ボランティアセンターは、「小石原焼伝統産
業会館」に開所されました。

● 応募のあった方から社協だよりの感想をいただきました

- 毎号参考になっています。かまボランティア・市民活動セ
ンターでは、中学生も活動しています。ごいと思います。お
疲れ様でした。
- 移動販売の体験をされるのは、とても良いことだと思
いました。

※当選者の発表は発送をもって代えさせていただきます。



Q

成年後見制度の類型(成年後見・保佐・補助)は、何によって判断されるのですか？

A

成年後見制度の類型は、客観的な書類に基づいて判断されま
す。その中でも医師の診断書が最も重要です。医師の診断書は、
申立ての際の添付書類になっており、診断書に基づいて類型が
判断されます。



かまボランティア・市民活動センター情報



8月26日(土)に開催された嘉穂ナイトハイイクは、25回目を迎えた今年で終了することになりました。今回は第1回目から主催者側のおひとりである益田政利さん(またまじ)とお話を伺いました。

Q1 25年間続いた嘉穂ナイトハイイクが今回で最後を迎えましたが、今の気持ちを教えてください。

A あつという間でした。25年間やってきて、参加者の事故や怪我などがなかったのも、ほっとしています。

Q2 何故、嘉麻市で嘉穂ナイトハイイクを開催しようと思ったのですか？

A 嘉穂ナイトハイイクは、青少年の育成、人々の健康増進、まちおこしを目的としています。26年前に嘉穂町レクリエーション研究会のメンバーが九重のナイトハイイクに参加したときに、影響を受け、嘉麻市でも似たような活動ができるのではないかと思い、始めました。

Q3 今までの嘉穂ナイトハイイクでどんなことが印象に残っていますか。

A 開催を重ねていくうちに参加人数が増えていき、第12回目のときに1,000人を超えました。自分たちの活動が認知されていくのがわかりました。リピーターとなつてくれる参加者からは「ここはおもてなしが日本一だから、また参加したいと思う」という言葉をいただき、継続していく事の大切さを学びました。



ターとなつてくれる参加者からは「ここはおもてなしが日本一だから、また参加したいと思う」という言葉をいただき、継続していく事の大切さを学びました。

Q4 25年間の嘉穂ナイトハイイクの中で変化していったことはありますか。

A 参加者の意識が変わっていったと思います。回を重ねるごとに歩くことに対して真剣に取り組むようになっていきました。また、嘉穂ナイトハイイクの参加を通じて普段から少しの距離なら歩くようになったとの声が増えました。

Q5 今年の嘉穂ナイトハイイクはいかがでしたか？

A 今回は、東京や千葉からも参加があり、参加者数は1,501人でした。棄権率は6%と低く、たくさんの方々がゴールできて嬉しかったです。家族での参加も多くみられ、やりとりをみていて気持ちがいきました。

Q6 市民のみなさんにメッセージをお願いします。

A 25年間続けてこられたのは、たくさんの方々への応援や協力、そして参加してくれる人がいたからだと思います。この嘉穂ナイトハイイクに関わってくれたすべての人々に感謝しています。25年間、ありがとうございました。



くれる人がいたからだと思います。この嘉穂ナイトハイイクに関わってくれたすべての人々に感謝しています。25年間、ありがとうございました。

ボランティア募集情報

10月28日(土)、シルバーケア嘉穂施設内にて秋祭りを開催します。その時に模擬店の販売補助や利用者のレクリエーション補助をしてくれる方を募集しています。

日時 10月28日(土) 10:00~15:00

場所 シルバーケア嘉穂施設内
(嘉麻市鴨生480-1)

内容 模擬店の販売補助や利用者のレクリエーション補助

備考 動きやすい服装で、上靴準備
昼食はシルバーケア嘉穂にて用意

募集人数 2~3名(多くて4~5名)

募集期限 10月20日(金)

問い合わせ 0948-43-1777
とわたのみやま
(担当:砥綿、野見山)



イベント情報

社会福祉法人 稲穂会 みんなで学ぼう 助け合い

この度、稲穂園にて『みんなで学ぼう助け合い』と題して「介護保険」「認知症」などについてのお話、なんでも相談会、介護用品の紹介など、地域の皆さんを対象とした相談・学びの会を下記のように実施いたします。お気軽に来園下さい。

場所 軽費老人ホーム稲穂園
(嘉麻市山野2373-116)

日時 平成29年11月18日(土)
10時~15時(施設開放)

内容 ①10時~11時30分
お話「介護保険・認知症について」
②11時30分~15時
「なんでも相談会」「介護用品展示」
「喫茶コーナー(せんざい・ケーキなど)」

問い合わせ 0948-42-6500



今月の一冊

落第坊主の履歴書

著者 遠藤周作さん



著者は有名な芥川賞作家であり、その飄々とした風貌や気さくな言動から、多くのファンが存在しています。しかし小説は「沈黙」、「海と毒薬」、「深い河」など、宗教や死をテーマとした作品を多く著わしており、歴代の芥川賞受賞作家の中でもその「重厚」な作風は際立っています。反面エッセイには「ぐーたら人間学」や「ぐーたら社会学」など、小説の重さとはかけ離れた人間味溢れる、寛大な、人への優しい視点から綴られた作品が数多くあります。

本書もその中の一冊です。著者は幼少時中国の大連で過ごし、本人曰く「へまばっかりの少年時代」であったといいますが。雨の降りしきる朝、雨合羽を着て「ジョーロ」で庭の花に水をかけていたところ、その光景を見てびっくりした兄が母親に注進し、注意を受けながらあまりに愚かな自分にひどく落ち込んだそうです。小説家として名を成した後、親しい作家と雑談した折に、その作家から「出版社の若い編集者が急に原稿を取りに来たので、「君、前から電話をくれないと困るよ」と注意をしたら、次は家の前のタバコ屋から電話をして、原稿を取りに来たので笑ってしまったよ」と聞かされ、遙か昔の「ジョーロ」の苦い記憶がよみがえってきたということ

です。本のタイトルは忘れましたが、昔「読書は最高に贅沢な趣味である。好きな時に、好きな場所で多くの人の想いや考えに触れることができる。」という文を見たことをこのコーナーを書くにあたって思い出しました。読書を中心からお薦めしたいと思います。(さわだ)

炭鋺の記憶

今回は、枝坂にお住まいの犬丸いぬまる且也かつやさんに炭鋺時代の文化について話を伺いました。

芸術の秋、スポーツの秋と言われていますが、10月になると三井山野炭鋺でも運動会が開催されています。稲築東の地区ごとにチー



ムが組まれ、棒倒しやバトンリレー、仮装行列などが行われました。仮装行列では、かかしやお姫様、侍などの仮装をした人たちが観客の前を歩き、誰が一番良かったか投票して決めていたことを教えてもらいました。

運動会の競技は男女別で行われ、「絶対に負けられない気持ちから一生懸命に取り組んでいた。」と当時の様子を語ってくださいました。全力で頑張っていた坑夫の姿が思い浮かびます。

犬丸さんは、「怪我をする人もいたけれど、運動会が一番の楽しみは宴会やつたなあ」と笑って振り返ります。炭鋺で働く方の家族も参加でき、会場は大人や子どもで賑わっていたようです。優勝者にはトロフィーに加えて、醤油や砂糖などの調味料やお米、鍋や釜などの生活用品もあり、ご家族も喜ばれたそうです。

運動会の他にも、盆踊りや獅子舞、お神輿など、地域の方々が参加できるような大規模なイベントが開かれていたことが分かりました。

安心して暮らせる地域をみんなで作ろう

～地域福祉部って何ですか？～

地域福祉部とは？

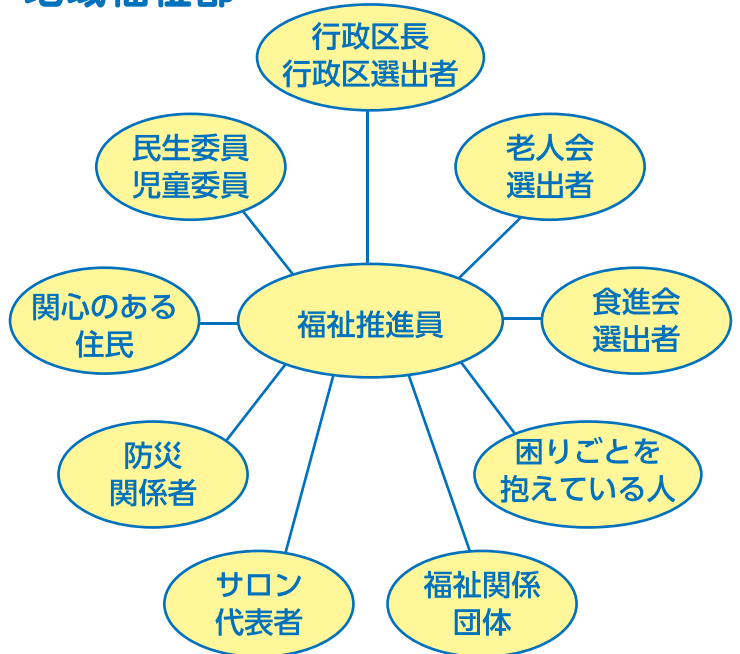
福祉に関する課題には、行政などのサービスによって解決できるものと、自分たちの力で解決しなければならないものがあります。しかし、一人の力で解決できるものではなく、地域の力が必要となってきます。

地域には、子ども会や老人会、婦人会などがありますが、福祉に関する課題について考える組織はありません。そのため、本会では、地域のいろいろな組織の人たちが同じ立場で地域の課題を考え、解決に向けて活動する地域福祉部の設置を推進しています。

福祉推進員の役割

福祉推進員は、地域における助け合いや支えあいを広げていくため、福祉活動を推進するアンテナ役を担っていただく方です。

地域福祉部



指定葬祭場紹介

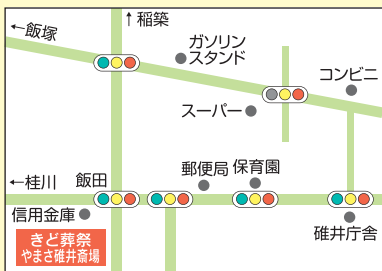
きど葬祭 やまさ碓井斎場

嘉麻市飯田214-1
☎ (0948) 62-4499

近年、高齢化・核家族化が進む中、家族葬をはじめ多種多様な形のお葬式がおこなわれております。ご家族の想いを大切に、故人様との大切なひとときを過ごして頂きますようにひとつひとつのご葬儀を社員一同誠実に真心と感謝を込めてお手伝いさせていただきます。

もしもの時のために安心のサポートとして『きどやまさ倶楽部』のご入会をお勧めいたします。

安心①明確な料金体系、安心②家族葬など多彩なプラン、安心③365日24時間体制でサポートしております。また、事前相談もおこなっておりますのでお気軽にお声掛けください(きどやまさ倶楽部は互助会システムではありません)年会費や月々の掛け金は一切ありません)



嘉麻市社会福祉協議会指定葬祭場は、きど葬祭 やまさ碓井斎場を含め、市内に8ヶ所あります。

ひさつね会館	☎52-0758	善光会館 稲築会場	☎83-5000
いすや会館	☎57-4444	おかむら葬祭岡村会館	☎42-4420
セレモニーホールおおつか	☎52-1212	飛鳥会館 南斎場	☎42-4241
かは葬祭 あじさい会館	☎62-5566		

みなさまの善意、心より厚く、
お礼申し上げます。

香典返し・寄附

8月1日～8月31日受付分

◆香典返し

【鴨生町】

親族 永川 美千代 様
故 永川 義光 様

【枝坂】

親族 北崎 トシ子 様
故 北崎 勝馬 様

【天神】

親族 松岡 梅香 様
故 松岡 弘城 様

【筑紫】

親族 山下 貞子 様
故 山下 和人 様

【中央】

親族 岸 明美 様
故 岸 和子 様

【昭和】

親族 手島 トメ子 様
故 手島 晴海 様

【中山田上】

親族 石本 美代子 様
故 石本 尚志 様

親族 河津 みちえ 様
故 河津 マスミ 様

【中山田下】

親族 松岡 朝子 様
故 松岡 行夫 様

【大隈】

親族 井上 勝之 様
故 井上 睦子 様

【下益】

親族 下川 千年 様
故 下川 美智子 様

【千手】

親族 篠崎 靖雄 様
故 篠崎 ゆかり 様

【芥田】

親族 山本 博子 様
故 山本 秀明 様

【口春】

親族 井手 鉄男 様
故 井手 久 様

◆初盆返し

親族 飯田 義胤 様
故 飯田 義胤 様

【飯田】

親族 西野 サキ 様
故 西野 義胤 様

親族 西野 サキ 様
故 西野 義胤 様

【光代】

親族 進 厚子 様
故 進 静也 様

◆一般寄附

【市外】

嘉穂の名水愛好者一同 様

◆物品寄附

【子育てリユース】

漆生中央 飯田 秀樹 様
西岩崎 渡邊 恵 様
漆生東 坂本 真一 様
大隈 大里 理子 様
飯塚市 木下由佳里 様
桂川町 岡本 千郷 様
田川市 中島かおり 様
田川市 小松 直子 様

田川市 小松 直子 様

田川市 小松 直子 様

田川市 小松 直子 様

田川市 小松 直子 様

田川市 小松 直子 様

田川市 小松 直子 様

田川市 小松 直子 様

田川市 小松 直子 様

田川市 小松 直子 様

田川市 小松 直子 様

田川市 小松 直子 様

田川市 小松 直子 様

田川市 小松 直子 様

田川市 小松 直子 様

田川市 小松 直子 様

田川市 小松 直子 様

田川市 小松 直子 様

田川市 小松 直子 様

田川市 小松 直子 様

田川市 小松 直子 様

百々谷 吉元 悦子 様

石ヶ崎 渡邊美千代 様

嘉麻市商工会 様

鴨生第一行政区 様

鴨生第二ふれあい 様

いきいきサロン 様

石ヶ崎シニアクラブ 様

石ヶ崎シニアクラブ 様

いきいきサロンなかます 様

【リングブル】

山野第二 古賀 絹江 様
熊ヶ畑第二 廣瀬 正明 様
木城 樋口えり子 様

清浄学園 様

長円寺仏教婦人会 様

石ヶ崎シニアクラブ 様

ダスキン嘉穂 様

夢サイトかほ 様

いきいきサロンなかます 様

上 大塚イチ子 様

教育ナビゲーション(株) 様

清浄学園 様

大和池坊高倉教室 様

大和池坊高倉教室 様

大和池坊高倉教室 様

大和池坊高倉教室 様

あなたの会費が、社協の
地域活動を支えています

会員として、次の方々に

ご加入いただきました。

(敬称を省略させていただきます。)
(順不同で掲載しています。)

8月1日～8月31日受付分

〈山野第二〉匿名

〈樋渡〉花岡美代子、藤春ユキ

エ、藤春幸輝、竹中亮一、藤春

俊二

〈鴨生町〉永石かほる

〈大橋〉大村月代

〈三菱第二〉辻岡昭子

〈中央〉黒川朝子、小島齒科、

牟田幸子

〈牛隈北区〉匿名

〈牛隈北区〉岩崎麻衣子

〈上月〉大屋日出紀、大屋由

理子



ふるさとへの
手紙 No.140



岡山県倉敷市
在住
ながやま しゅんすけ
永山 俊輔さん
椎ノ木 出身



私のふるさと

私は、昭和29年11月、旧嘉穂町の椎ノ木で生まれ、足白小学校、大隈中学校、嘉穂工業高校（昭和48年 卒業）、そして昭和48年4月に倉敷紡績 倉敷工場に入社以来44年間勤め、定年後の現在もシニア社員としてお世話になっている。

故郷の思い出といえば、家から小学校までの通学時など、365日見ていたであろう、馬見山、屏山、古処山の風景である。小学校の遠足では、5年になったら古処山、6年になったら馬見山と決まっていた。幼少の頃は何も感じていなかったが、小学5年になり、初めて古処山に登った時、頂上から見えた筑後川の雄大さに言葉を忘れるほど衝撃を受け、見とれていた事は一生忘れないだろう。

また学校帰りに友達と二人でスイカ畑に侵入して、思いっきりスイカを食べて、畑の持ち主に見つかり学校に連絡され、次の日は、一日中、立たされた事を覚えてい

る。チョイ悪話は馬見山の高さに匹敵するくらい持つているのが自慢である。登山はなしは素晴らしい思い出であり、スイカのエピソードは非常に甘くて美味しかったが、大変苦しい思い出となった。今年86才になる母親が、長年住み慣れ親しんだ椎ノ木に惚れ、離れたくないようで、現在も暮らしている。機会があれば母の顔を見にと思っ

11月の総合相談

法律相談

と き：11月2日(木) 13:00~16:00
と ころ：山田ふれあいハウス

と き：11月16日(木)13:00~16:00
と ころ：稲築住民センター

※法律相談は予約が必要です。
先着順となっていますので、お早目にお申し込みください。

心配ごと相談

と き：11月8日(水) 13:00~15:00

と き：11月22日(水) 13:00~15:00

※心配ごと相談の会場はいずれも稲築住民センターです。

山田ふれあいハウスからのお知らせ

平成29年11月1日(水)から平成30年3月31日(土)まで、閉館時間が下記のとおり変更になります。

記

閉館時間 / 午後5時

連絡・問い合わせ先 / 山田ふれあいハウス

☎ 0948-52-1847 嘉麻市上山田502番地6

開館 毎日(年末年始を除く) 午前9時~午後5時まで

編集後記



(おがわ)

表紙を飾るのは、牛隈小学校の運動会の練習風景です。今年は8月25日から新学期がスタートし、子ども達は10月1日の本番に向けて、一生懸命頑張っています。



(ふじい)

第25回かほ「夢運」ハイクではたくさんの方と一緒に20Km歩きました。途中で休憩を取りながら約4時間かけてゴールすることができ、達成感にひたりました。



(なかの)

嘉穂ますます会に参加すると、「あの店は商品を配達してくれる」など、地域のことがよく分かります。協議体をもっと知ってもらい、たくさんの方に来ていただきたいです。



(いとう)

今月のえがおでは、大正生まれの伊藤光雄さんと紗智子さんにお話を伺いました。笑顔が素敵で、「長生きの秘訣はマイペースで謙虚であること」と教えていただきました。



(やひろ)

東峰村災害ボランティアセンターで活動する中で、地域の方やボランティアさんにたくさん元気づけられ、人との繋がりの大切さを改めて感じました。



(さわだ)

今月の一冊では、どの本を紹介しようかあれこれ思案しました。この本は自分にとって非常に感銘を受けた作品です。みなさまもご一読ください。